

# 放っておくと危ない! 気になる症状

## 血便が出た!

トイレで用を足した後、便器を見たら「便の周りに赤いものが見える」「便器が真っ赤になつている」「血のような下痢便が出た」こんな経験がある方もおられると思います。「便が固く肛門が痛い」「真っ赤なきれいな血がぽたぽた落ちた」「肛門が切れて出血した場合はこんな感じですね。」

いつも便秘で、特に夜間に多いのですが「突然おなかが痛くなりトイレに行ったら血のような便が出た」これは虚血性腸炎によく見られる症状です。一時的に大腸の粘膜に血が通わなくなり粘

膜が剥がれおちて出血する病気です。

急に発症する腹痛、発熱、下痢は感染性腸炎が疑われます。大腸菌やカンピロバクターという名の細菌の感染によることが多く、この場合にも血便が出る場合があります。「風邪がこじれて抗菌剤を内服していたらお腹が痛くなり、真っ赤な下痢便が出た」。これは出血性大腸炎という病気でペニシリン系の抗菌剤が原因の場合が多いようです。ピロリ菌の除菌治療を行った場合にもまれに起こることがあります。炎症性腸疾患のう

ち潰瘍性大腸炎では、粘血便が主な症状です。大腸憩室症では、憩室出血をおこすことがあり、アスピリンなどを内服していると出血しやすくなるようです。

その他にも血便の出る病気はありますが、何といつても放っておくと危ない病気の代表は大腸癌でしょう。痔からの出血とばかり思っていたけど、気になつて病院に行ったら医師から検査を勧められ、内視鏡検査の結果大腸癌がみつかったということもあります。現在大腸癌にかか

る人は増えてきており、特に女性では癌の死亡原因の第一位です。大腸癌は治癒が望

める癌の一つですから、血便が出たら早めに医療機関を受診し検査が必要か判断してもらいましょう。もっと大切なことは、血便などの症状が出る前に大腸癌を発見することです。40歳を過ぎたら定期的に便潜血による大腸癌検診を受けましょう。便潜血が陽性であっても大腸癌とは限りませんが、陽性であれば内視鏡検査を受けてください。また、内視鏡検査を受けければ、癌になる前の小さなポリープの段階で発見し切除することも可能です。

佐伯地区医師会

網本内科消化器科医院

網本達也